

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	強震観測小委員会	主 査 名：鹿嶋俊英 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会	委員長名：和田 章 主 査 名：三浦賢治
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 強震観測体制・強震データの現状把握と建物観測の台帳化 ・ 今後の強震観測小委員会のあり方についての検討 ・ 各地域の地震動研究に関する情報交換・審議 ・ シンポジウムの企画 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 鹿嶋俊英(建研)、片岡俊一(弘前大)、山村一繁(首都大)、青井真(防災科研)、池浦友則(鹿島)、上林宏敏(大工大)、北川良和(慶応大)、笹谷努(北大)、猿田正明(清水)、飛田潤(名大)、中村充(大林)、元木健太郎(東工大)、源栄正人(東北大)、吉田治雄(竹中)、吉村智昭(大成)	
設置 WG (WG 名：目的)	建築物地震観測台帳作成 WG：建築物における地震観測の状況の整理 次世代 DB 検討 WG：建物における地震観測の共通書式について検討	
2007 年度予算	290,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス: http://www.eqgmo.ajj.arch.metro-u.ac.jp/eqgmo/

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. シンポジウム「建築振動工学の発展と耐震設計」 参加者数 109 名 『同名資料』(振動運営委員会全小委員会で共催)
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 強震観測の現状把握は建築学会大会論文を調査し、台帳化を図っている。 2. 今後の強震観測小委員会のあり方については、普及を目標として掲げ、新たに強震観測の手引きの作成を開始。 3. 地震動研究は能登半島沖地震や新潟県中越沖地震を中心に情報交換。 4. シンポジウムに関しては、2008 年末を目途に企画を具体化。 以上概ね目標を達成。
委員会活動の問題点 ・課題	